

むらまち通信

第94号

2012年8月27日 発行



「砥山ダム周辺を歩こう」を実施しました。



○ 実施状況

- ・ 日 時：平成24年8月26日（日） 10:00～
- ・ 実施会場：砥山ダム周辺及び旧定山溪鉄道鉄道敷地
- ・ 主 催：八剣山発見隊
- ・ 参加者：8人（吉田隊長、原口、紺谷、志田、松岡、種丸、平田、塚本）

あいにくの曇り空でしたが、気温が高くて蒸し暑い日で、時々雨がパラついていました。

今回のルートは昨年の10月下旬に調査したところですが、季節が変わることにより景観をはじめ新たなものが発見できることから、夏のルートとして調査を行うこととしました。

出発してすぐのアイヌ文化交流センター（ピリカコタン）の裏には田んぼが広がっており、植えられている稲からは稲穂が出ており、少しずつ黄色くなってきていました。

砥山ダムを下流側から観察。横からは水が噴き出していました但水量はそれほど多くはなく、下流側の川もゆっくりと流れていました。ダムの上から眺めたい旨をダム管理所の人と交渉しましたが、安全を確保する施設が整っていないダムなので不可能とのことでした。

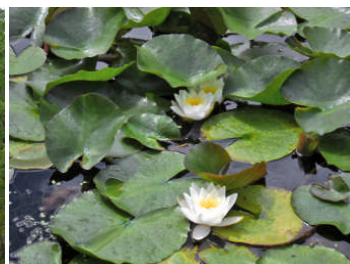
砥山ダムから「こころの花記念碑」のある公園を通り国道へ出ましたが、札幌へ向かう路線は工事中となっていました。

調査の途中で隊員の志賀さんが所有する「山荘志賀」に立ち寄りました。志賀さんご夫婦は農作業の最中でしたが快く農園内を案内してくださるとともに、休憩の場所を提供してくださいました。この農園は600㎡ほどあるとのこと、タマネギやトマト、ジャガイモなど数多くの種類の農産物を育てていました。また農園内には、バーベキューコーナーや石焼き窯まで設置されていました。

山荘志賀の敷地の横には小川が流れており、その流れは国道の下を流れて下の池まで流れていました。その池の一部には蓮の花が咲いていました。また旧定山溪鉄道の線路用地であった道路を通って戻る途中では、傘の直径が30cmほどある大きなキノコも見かけたところでした。



砥山ダムの横で行程確認



池で見つけたハスの花



ピリカコタン裏の田んぼ



下流側から見た砥山ダム



山荘志賀と庭園でくつろぐ参加者の皆さん

発行：塚本むらまち計画研究室
主 宰 塚本 保弘

061-1276

北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10

携帯電話：090-7515-7057

E-mail : fhuka@rose.ocn.ne.jp